

11月 10日

pm 5:00 ~

『介助犬をそだてる会』

- 講演会 -

at magatama

入場整理券が必要となります
事前にお問い合わせください

magatama
cafe x dining



〒540-0004
大阪市中央区玉造 1-4-14
tel 06-6765-8911
e-mail cafe@magatama.net
JR玉造、地下鉄玉造下車 份

<http://www.magatama.net>

『介助犬とは』

介助犬の役割

介助犬は、車椅子生活を送る肢体障害者を助けるよう訓練された犬です。盲導犬が視覚障害者の外出時に目の代わりにするように、常に身体障害者に寄り添い、生活の中で不便なことを介助します。

代表的な介助には、次のようなものがあります。

新聞・カバン・携帯電話・書類などをマスター（介助犬を必要とする肢体障害者）の元に運ぶ。

体ごと伸び上がり、

前足でドアの把手を押す・引く。

エレベーターのボタンを押す。

電気のみもを引っ張り明かりをつける。

空の車椅子を手前に引っ張ったり、マスターが車椅子に乗っている時に、車椅子を引っ張る。

服や靴下を口でくわえて脱衣の手助けをする。

他にも、書類をくわえて相手に渡したり、杖歩行をする人が立つ時に支えになったり、階段の上がり下がり時に手すりかわりになる等、約30種類以上の動作を教え込まれて、幅広い介助をします。

介助犬の訓練

介助犬は、これらの介助を的確に出来るよう訓練されているほか、他人に危害を加えたり、ほえたり、みだりに排泄することがないよう動物愛護の精神を持ってしつけられています。

生後4ヶ月頃から小犬のトレーニングを開始し、約1年から2年で介助犬が誕生します。その間の訓練は多岐に渡ります。

また、個々のニーズにきっちり答えられるよう、マスターの障害の度合いによってトレーニングの内容は異なります。

介助犬の実態

介助犬は、欧米ではすでに5,000頭以上が活躍し、協会もあります。

公共施設や交通機関、ホテルやスーパーなどにも同伴できるほど市民権を得た存在です。

一方、日本には平成2年にアメリカから「額が持ち込まれたのが最初で、現在は『介助犬をそだてる会』が育てた3頭を含め数頭しかおらず、使役犬ではなくペット扱いが現状です。



PROGRAM

講演時間は、30分程です

講演後に、時間の許す限り、
質疑応答のお時間を設けております

終了後、通常営業となりますので、
ごゆっくりお寛ぎ下さい。

* 当日講演時間中、訓練犬来店のため、
ワンちゃんのご入店はご遠慮願います。



『介助犬をそだてる会』

全国には個人や介助犬育成団体はいくつかありますが、その育成方法や介助犬の認定基準はさまざまです。

このままでは、介助犬の質の低下が懸念されると考えられます。当会では、医療機関・獣医師・訓練士と協力し、コーディネーターが適切なアドバイスを行い、当会が育成した介助犬だけでなく、ご自身の愛犬を介助犬にしたい方や個人で介助犬を以っている方などすべての介助犬を審査し、合格した犬を介助犬と認定、登録を行い中立の立場で情報提供、研究、普及していく事と、一般の方々にはもとより障害者の方々にきちんとした介助犬の認識（ただし犬の飼ひ方・しつけの方法等）を持っていただく事を目的に活動しているNPO組織です。

〒603-8413

京都市北区紫竹東大門町 39-2

電話：075-495-0419 FAX075-495-0435

介助犬をそだてる会 事務局



<http://kbic.ardour.co.jp/~kaijoken/>